

ほっこり通信

題字は波賀町社協第2代会長岡田薫氏

編集発行:波賀地域福祉推進委員会

宍粟市波賀町安賀 232-1

宍粟市社協 波賀支部

(TEL:0790-75-3631

FAX:0790-75-3650



雪化粧のメイブル福祉センター 波賀の福祉の拠点です

宍粟市社協波賀支部の事務局はこのなかにあります

平成 17 年 7 月、旧 4 町の社協が合併し宍粟市社会福祉協議会（以下「社協」）が発足しました。合併後は、ひとつの社協として地域福祉の推進を課題に、第一次地域福祉推進計画を策定し、各々の事業を進めてきました。

本年度は、この第一次計画の反省点をふまえて、今後 5 年間にわたる第二次地域福祉推進計画を策定いたしました。この計画の重要な点としては、合併が軌道に乗った今こそ、旧 4 町の地域性に合わせた地域福祉の推進の重要

「ほっこり通信」 発刊の意義

波賀地域福祉推進委員会委員長
宍粟市社協副会長

森本 都規夫

性・必要性が再認識された事等々があります。そこで旧 4 町の支部に設置している組織として、『地域福祉推進委員会』の更なる充実が求められる事になりました。

つきましては、社協波賀支部として、従来の波賀町社協時代と同様に、波賀の皆さんに最も身近な地域内の情報をわかりや

【ほらんちゃん！】 とってもきれい！ しあわせ会の手づくり祝箸

このコーナーでは、波賀のボランティア活動の紹介や募集など、ボランティアの話題をお届けします。

今回は、上野しあわせ会の「祝箸」を紹介します。

上野しあわせ会（代表瀧元善子



一膳一膳きれいな千代紙で姉様人形の飾りがとてもきれいです

すく知っていただき、合併によって遠くなった印象のある社協を、今まで以上に親しみをもち、理解していただいたり利用をお願いしようと、波賀支部のかわら版ともいえる『ほっこり通信』を発行することになりました。

できるだけ多くの情報の提供をして内容を充実していきたいと考えております。今後とも、市社協はもちろん、波賀支部においても役職員が一丸となって支部地域福祉の推進に邁進いたしますので、ご理解、ご協力をお願いし、発刊のあいさついたします。

平成 23 年度歳末たすけあい募金集計表

自治会名	件数	金額(円)	自治会名	件数	金額(円)
日見谷	33	10,650	飯見	43	17,050
谷	93	29,320	野尻	35	10,953
小野	72	22,001	原有賀	25	8,100
今市	23	7,500	原	61	19,400
安賀	81	26,320	日ノ原	14	4,500
斉木	159	49,712	音水	5	1,800
有賀	59	18,605	引原	6	2,000
上野	190	63,071	鹿伏	31	10,501
水谷	38	11,991	戸倉	11	3,300
皆木	63	20,855	道谷	31	10,800
ありがとうございました			支部合計	1,073	348,429

いつも夏から作業を開始され

(草田 希望)

充てる目的で昭和 63 年頃から始まりましたが、平成 14 年からは、福祉施設や社協にも、プレゼントとして届けられていました。

ありがとうございます！

（草田 希望）

どうぞよろしく！ 波賀地域福祉推進委員会です!!

宍粟市社協波賀支部の運営委員会として、波賀の地域福祉を推し進めます。

- 委員長 森本 都規夫(社協副会長)
- 副委員長 山根 勝(民協・社協理事)
- 委員 植田 美代子(社協理事)
- 〃 清水 隆司(連合自治会)
- 〃 岩口 繁子(元婦人会)
- 〃 小林 登美子(ボランティア)
- 〃 船積 攝子(福祉施設)
- 〃 秋田 清治(行政)
- 〃 尾家 康一(谷福祉連絡会)
- 〃 早川 美知子(上野福祉連絡会)
- 〃 小椋 壽一(原福祉連絡会)

社協が取り組む介護予防事業

住み慣れた家で、長く 元気に過ごすために



皆さん、お達者ですか!?



ときには、学童保育の子どもといっしょに...

利用者さんのお話や笑顔から 元気をもらう「お達者クラブ」

波賀で「お達者クラブ」が産声を上げたのは平成16年でした。介護保険を利用していない高齢者を対象に、孤立を予防し元気で過ごすための「生きがいデイサービス」としてスタートしました。平成18年、行政から介護予防という事業の委託を受け、今日に至っています。

初めは手さぐりの状態でしたが、利用者さんやお手伝いのボランティアさんをはじめ、関わってくださる皆さまのお陰で、体操やレクリエーション、歌などなど：なんとか楽しくやってきました。本当に感謝しています。

「お達者クラブ」は、利用してくださる皆さんが、住み慣れた家

が家で少しでも長く元気に過ごしていただけるお手伝いができるように、お達者クラブに来て楽しかったと思っていただけるよう、スタッフ一同がんばっています。と、偉そうなことを言いましたが、私たちスタッフのほ

「配食サービス」は週2回 ボランティアさんに支えられて

市内でいち早く取り組んだ波賀の配食サービスは、現在週2回高齢者の食生活バランスを補うための食事を作り、65歳以上のひとり暮らし二人暮らしの希望者のお宅へ届けています。

家庭の味付けで食べやすく工夫をこらしたお弁当を調理してくださるのが、調理ボランティアの皆さんです。ときには自分の畑で丹誠こめて作った野菜を持参されては、おいしく調理してくださいます。そうして愛情たっぷりのお弁当ができあがります。昭和57年のスタートの時から30年にわたって活動を

うが、利用者さんの若い頃のビックリするようなお話や、ステキな笑顔から、いつも元気をもらっています。

「お達者クラブってどんなところ？行ってみたいなあ」と思われる方がおられましたら、どうぞ社協まで電話してください。ご相談、手続きの説明に訪問させていただきます。

(上山 裕美)



調理を終えて、ほっと一息の上野グループの皆さん
1月6日は赤飯とブリの照り焼きでした

の声かけも大切な役割です。短い会話ですが、利用者さん、ボランティアさんの気持ちのなごむひと時です。

たくさんの方の協力によって成り立っている配食サービス事業。お弁当の利用を希望される方はたくさんおられます。温かいボランティア活動のご協力をこれからもよろしくお願い致します。

(赤松 美知子)

愛のこもった「ふくろう」づくり

波賀支部老連副会長・女性部長 植田美代子

年度初めの役員会の時に、老人クラブ連合会女性部で「何かお手伝いをする事がないかな」と話がありました。女性部全員がついながら楽しい時間をもてたらいいな、と思いつつ、日々の過ぎるのは早いものです。年末に老人クラブ福祉募金をお願いし、その一部を活用し、要介護の会員さんへのお見舞いに、ふくろうのマスコットをつくることになりました。12月5日、女性部の皆さんには朝早くから「ふくろう」づくりに挑戦していただき、愛情がこもった、とても可愛い作品が出来あがりました。

昼食には、参加された女性部



かわいいふくろうです



楽しい時間が過ごせました

編集後記：

ああだ、こうだと編集会議でかなり時間をかけ、そばにいる人の体温が伝わってくるような「ホッコリ」という音が表す、温もりのある温度感覚のタイトルを選びました。波紋が広がるように、この通信が人の和を広げ、お互いを温かく結んでくれることを願っています。

(尾家康一)